



夏休み最中の7月～8月は、ごみかんもお休み…といきたいところですが、10月の市民ごみ大学セミナーに向けて、内容とタイトル決定、会場の抽選&確定、講師依頼…と、気分的にはのんびりできない月です。そして奇数月に発行のごみと・SUNの原稿書きと編集作業も。印刷・帳合・封入作業は、府中市にある多摩交流センターで行ない、そのまま井上編集長がバイクでピューンとヤマト運輸へ持ち込むのです。元気でないとやっていけませんね。

それにしても、今月の記録的な豪雨の被災地の厳しい状況を知るにつけ、真夏の体育館で避難されている方々にどうぞ二次被害が出ませんように、と祈る毎日です。そして、この国の政策が経済や企業の利益優先ではなく、何よりも人命優先に！と当たり前のことなのにそうならない現状に憤り、ますます不快指数が上がってしまいます。(E)

予告



秋の市民ごみ大学セミナー
10月20日(土) 13:30～16:30
国分寺労政会館

海外輸出STOP！
あふれる廃プラスチックの問題
～どうなる？国内循環と発生抑制～
(仮題)

いま、廃プラスチックは、中国をはじめとしたアジア諸国に受け入れを拒否され、国内に溢れている状況です。自国内での循環を基本に据え、そしてこれを機に発生抑制の視点を組み込んだ生産の在り方にチェンジしてほしいものです。現状と展望を伺います。

講師はただ今交渉中。内容が確定しだい、メールニュースやフェイスブックでお知らせします。

東京・三鷹市市議会で
「全ての命を守るためプラスチック海洋ごみの
発生抑制・削減を求める意見書」 採択されました！

三鷹市議会では、6月議会で上記の議員提出議案が採択され、意見書が国に上がることになりました。詳しくは、「三鷹市議会いのちが大事」6/26で検索を。6月26日の記事です。世界が積極的に海ごみのプラスチック対策で動いている中、日本の消極的な姿勢は本当に理解に苦しみます。地方議会から国に意見書を上げましょう！



クリーンむさしのを推進する会
(東京・武蔵野市)より

東京MXテレビ(9ch)の番組
「トウキョウもっと！2 元気計画研究所」 7月21日のテーマは
「もっと東京の食品ロスを減らすために！」

冒頭で、武蔵野市のクリーンセンター屋上での生ごみ堆肥を使った菜園活動や生ごみの共同堆肥場などの活動が紹介されました。見逃された方も多いと思いますが、7月29日(日) 17:00～18:00に再放送があります！ぜひご覧ください。

*ごみとが29日までにお手元に届いているといのですが、メールニュースでは放送日は7月22日とご紹介しましたが、その後21日に変更されました。

このごみのつばや記

毎日増えて行く熱中症の死亡者数。中でもずっと心に残りそうなのは、豊田市で野外授業に出かけた小学1年生の死ではないでしょうか。校長の会見から、彼は「行きたくない」と訴えていたことがわかっていました。

ひと月ほど前に、私は津波で74名の児童が犠牲になった石巻市の大川小学校の跡地へ行きました。震災からまだ2、3日という頃、テレビのインタビュアーを受ける坊主頭の小学5年生の男の子から発せられた言葉に耳を疑いました。只野哲也君は、助かった4人の児童のうちのひとり。彼はその時何が起こりどうやって助かったのか話した後で、「ぼくはこのことをずっと話し続ける」と言ったのです。彼は助かったけれど、一緒にいた妹と自宅にいた母親、祖父を亡くしています。なのにこの覚悟はいったい何だろう、と驚きました。

震災の遺構が「遺族にとっては辛いから」と取り壊されることが多い中で、大川小学校は津波に破壊されたままそこにあり、手作りのパネルで、訪れた人にも多くのことを教えてくれます。パネルは一昨年6月に只野君のお父さんから遺族の一部が立ち上げた「大川伝承の会」によるもの。大学生になった哲也君は今、あの言葉通り語り部として活動しています。

そして大川小学校が、反対も多いい中で遺構として残されたのも、哲也君の強い意志によるものでした。あと百年したら、もう震災を語る人はいません。でも遺構は雄弁です。山側の体育館(の残骸)まで行って、心底驚きました。すぐ脇には裏山へ上がる整備された緩やかな山道があったのです！ 哲也くんたち高学年は、この道を登って椎茸栽培をしていたそう。だからあの時、子どもたちは「山さ逃げっぺ」と言ったがおとなに否定された。列を抜けて勝手に登り、引き戻された子もいなかったことで命が失われるのは、もうやめたい。哲也君はそのことを知らしめるために神様が遣わした子ではないでしょうか。

ごみ・環境ビジョン21



年会費 = 個人会員 3,000円 団体会員 6,000円
賛助会員 10,000円(一口)

郵便振替 □座名: ごみ・環境ビジョン21
□座番号: 00130-1-603521

◆ごみと・SUNのお受け取り方法は

- ①ヤマト運輸のDM便
- ②メール添付でのPDF配信 の二つがあります。
②をご希望の方はメールにてお申し込みください。

◆振替用紙にはご住所・お名前・お電話番号(FAX)をご記入ください。また、住所変更があった場合はお知らせください。DM便は移転先へ転送されませんので戻ってきてしまいます。

◆記事を転載する場合はご連絡ください。